

2009年度MHB研究大会(8月9日)
京都・立命館大学

在日ベトナム系 バイリンガル児童の 言語能力

横浜国立大学 教育人間科学部
長谷川朋美
tomomih@ynu.ac.jp

研究の背景

- 外国につながる児童が多い小学校でのサポート活動、研究調査(第2言語としての日本語習得)を行う中で...

この子たちは、一体、どのくらい第1言語(両親の言語)が話せるのだろうか?

継承語としてのベトナム語

本研究での「継承語」の定義

「家庭での使用言語が英語以外の生徒(a language student who is raised in a home where a non-English language is spoken)」(Valdes, 2001)【注:「英語」を「日本語」で読みかえる】

日本で生まれ育ったベトナム系児童は、どれくらい継承語(第1言語)であるベトナム語を維持(習得)しているのだろうか?

ベトナム語について

- 語順はSVO(語順で語と語の文法関係を表す)
- 修飾語は、修飾される語の後ろにおかれる
「人」+「美しい」=「美人」
「美しい」+「とても」=「とても美しい」
- 活用や屈折といった語形変化がない
- 漢語からの借用語が多い
- 方言
 - 北・南部方言
 - 北部方言(6声調)
 - 南部方言(5声調)
 - 中部方言(5声調)

富田(2000)参照

在日ベトナム系児童のベトナム語能力

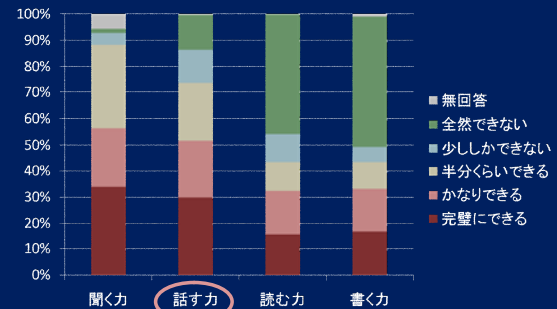
国際日本語普及協会(1993)

大人と子どもを対象にした大規模なアンケート調査
【ベトナム:有効回答数、大人90名、子ども(6歳以上)129名】

インドシナ3国の中では、ベトナムは、家庭での母語使用率が大幅に高い。

しかし、滞日年数が増えるにつれて、母語使用率が低くなっていることは事実である(特に、子から親への使用言語、兄弟間の使用言語)。

子どもの現在の母語力(ベトナム) (国際日本語普及協会,1993)



【注:話す力の「少ししかできない・全然できない」、読む力・書く力の「完璧にできる・かなりできる」は、合計で報告されているため、グラフでは、両項目の配分を均等にして表示している。】

子どもたちのベトナム語力調査

国際日本語普及協会(1993)と本調査の違い

- ・ 1991年の調査時から18年の年月が経っている。
- ・ 話す力を直接インタビュー調査で測っている。
- ・ 小学校1年生と6年生を比較している。

米国の移民、難民、ネイティブアメリカの子どもたちは、英語が教授言語となる学校入学を契機に、家庭言語を失っている。
(Wong-Fillmore, 1991, 原文英語)

[注:「米国」を「日本」「英語」を「日本語」で読みかえる]

各世代のバイリンガリズム

Valdés (2001, Figure 4), 原文英語

世代	考えうる言語の特徴	
1世	継承語モノリンガルA	初期バイリンガルAb
2世、3世	継承語優位Ab	英語優位aB
4世	英語優位aB	英語モノリンガルB

[注:「英語」を「日本語」で読みかえる]

リサーチ・クエスチョン (RQ)

- ・ RQ1: 在日ベトナム系児童は、どのようなバランスで、ベトナム語・日本語両言語を習得しているのか。
- ・ RQ2: 小学校6年間に、在日ベトナム系児童のベトナム語力はどのように変化しているのか。
- ・ RQ3: 継承語であるベトナム語能力の習得・維持の個人差の要因として、児童の言語生活にはどのような違いがあるのか。

調査対象者

横浜市立小学校に在籍するベトナム系児童

1年生8名(全員が日本生まれ)
6年生9名(うち7名が日本生まれ)

同校・同学年の日本語モノリンガル児童

1年生5名
6年生2名

調査実施者

ベトナム語インタビューア

横浜国立大学教育学研究科留学生
ベトナムでは、中学の英語教員(経験9年)
調査当時8歳の娘(ベトナム在住)の母親
日本語は、基本的な日常会話程度

日本語インタビューア①

横浜国立大学教育学研究科大学院生
元小学校教員(経験8.5年)
調査当時8歳の息子の母親

日本語インタビューア②

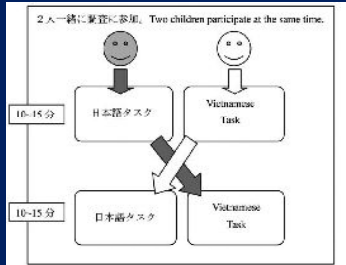
発表者本人

インタビューア・トレーニング(約4時間)

- ・ カナダ日本語教育振興会(2000)を参考に調査マニュアル作成
- ・ 調査の目的、実際のインタビュー手順、書き起こし手順、評価手順などの説明
- ・ 子どもの第2言語・継承語習得について
- ・ 言語能力評価における信頼性・妥当性などについて
- ・ ベトナム語がほとんど話せない子どもへの対応方法

インタビュー実施手順

- 2009年2月～3月(学校訪問回数11回)
- 小学校の昼休みの時間を利用して実施
- インタビューの所要時間は、各言語10～15分



インタビュー内容



評価方法

カナダ日本語教育振興会(2000)の会話力の三面評価の項目

基礎言語面
*2言語の分化
発音
語彙
文の生成
文法的正確度
文のタイプ・質

*印の項目以外、各項目1～5点で採点。合計点の最低点は14点。

対話面
聴解力
会話への参加態度
対話の流暢度
タスク達成度
話体・敬体
*会話ストラテジー
認知面
話のまとまり
内容の豊富さ
語彙の質
段落とその質

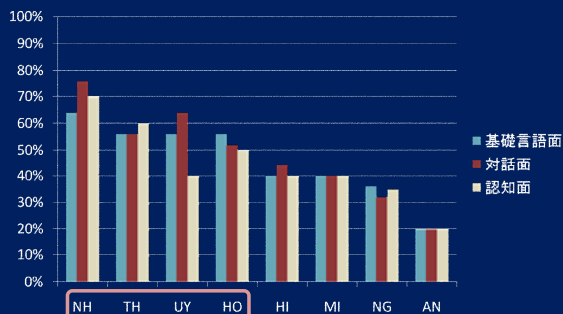
各項目満点の5点とは、平均的なベトナム語・日本語モノリンガル、同学年児童のパフォーマンスとした。

評価結果(個人・合計点) 70点満点

	1年生		6年生		
	ベトナム語	日本語	ベトナム語	日本語	
NH	49	70	PH	63	ベトナム生まれ
TH	40	68	SO	61	
UY	38	66	LN	60	
HO	37	66	TY	45	
HI	29	60	MI	42	
MI	28	56	LC	40	
NG	24	52	TH	34	
AN	14	46	QU	28	
			TA	19	
				67	

「日本生まれ」の児童のベトナム語評価の平均点(1年生=32点、6年生=39点)を基準に、上位グループと下位グループに分ける。

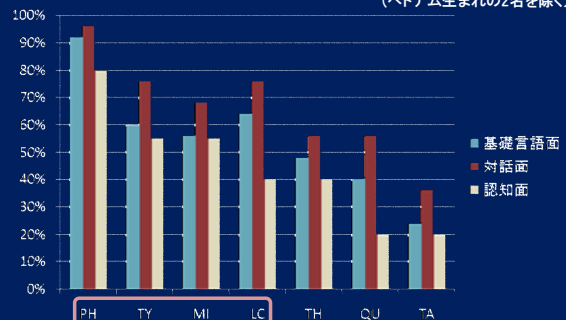
ベトナム系1年生児童のベトナム語評価結果



3つの評価項目グループ「基礎言語面(25点満点)」「対話面(25点満点)」「認知面(20点満点)」の配点が異なるため、パーセント表示で示している。

ベトナム系6年生児童のベトナム語評価結果

(ベトナム生まれの2名を除く)



3つの評価項目グループ「基礎言語面(25点満点)」「対話面(25点満点)」「認知面(20点満点)」の配点が異なるため、パーセント表示で示している。

リサーチクエスチョン (RQ1&RQ2)

RQ1: 在日ベトナム系児童は、どのようなバランスで、ベトナム語・日本語両言語を習得しているのか。

RQ1の答え: 本調査に参加した在日ベトナム系児童の優位言語は、日本語である。ベトナム語については、個人差はあるものの、ある程度は維持されている。

RQ2: 小学校6年間に、在日ベトナム系児童のベトナム語力はどのように変化しているのか。

RQ2の答え: 小学校で6年間の日本語での学校生活を送った後も、個人差はあるものの、継承語のベトナム語は、維持されている。

個人差が生まれる要因(1年生)

インタビュー中の言語生活に関する質問への児童の回答

	上位グループ				下位グループ			
	NH	TH	UY	HO	HI	MI	NG	AN
1.日本の保育・幼稚園への通園	1歳	?	1歳	3歳	1歳	1歳	4歳	5歳
2.両親とベトナム語で会話	○	○	○	△	○	△	○	○
3.兄弟姉妹とベトナム語で会話	×	×	×	×	×	?	×	×
4.幼児期のベトナム語絵本体験	○	×	○	○	×	○	×	?
5.現在のベトナム語読書習慣	○	×	×	×	×	○	×	?
6.ベトナム語学習経験	○	○	○	○	×	○	×	○
7.家庭外でのベトナム語使用	○	×	○	×	×	○	×	○
8.ベトナム訪問経験	1回	1回	3回	1回	2回	1回	?	×
9.「ベトナムが好きですか？」	○	○	○	○	○	○	○	○
10.バイリンガルになりたいか	○	○	○	×	○	○	×	○

個人差が生まれる要因(6年生)

インタビュー中の言語生活に関する質問への児童の回答
(ベトナム生まれの2名を除く)

	上位グループ				下位グループ		
	PH	TY	MI	LC	TH	QU	TA
1.日本の保育・幼稚園への通園	2歳	4歳	4歳	3歳	5歳	2歳	2歳
2.両親とベトナム語で会話	○	△	○	○	△	△	△
3.兄弟姉妹とベトナム語で会話	×	×	△	○			×
4.幼児期のベトナム語絵本体験	○	○	×	○	×	○	×
5.現在のベトナム語読書習慣	○	×	×	×	×	×	×
6.ベトナム語学習経験	○	○	×	×	○	×	×
7.家庭外でのベトナム語使用	○	○	○	○	○	×	×
8.ベトナム訪問経験	多	4回	多	3回	○	1	1
9.「ベトナムが好きですか？」	○	○	○	○	○	○	○
10.バイリンガルになりたいか	○	○	△	○	○	○	○

リサーチクエスチョン (RQ3)

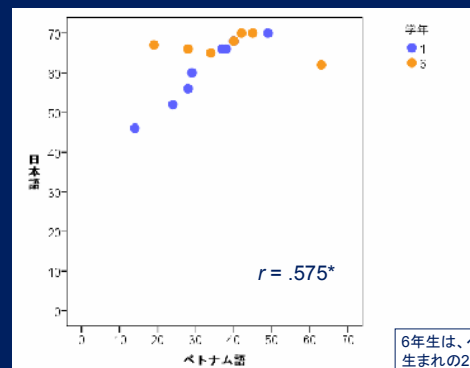
RQ3: 継承語であるベトナム語能力の習得・維持の個人差の要因として、児童の言語生活にはどのような違いがあるのか。

- ・ 幼児期のベトナム語絵本体験(1年生、6年生)
- ・ 親とのコミュニケーション言語(1年生、6年生)
- ・ ベトナム語の学習経験(1年生)
- ・ 家庭外でのベトナム語使用(6年生)
- ・ ベトナム訪問経験(6年生)

ベトナム系児童のベトナム語に対する態度

- ・ 調査を行った小学校に在籍している1年生と6年生のベトナム系児童全員、インタビューを拒否したり、インタビューの途中で、ベトナム語を話すのを諦めたりするということはなかった。
- ・ 「ぼく、あのベトナム人(=インタビューア)が言ってること、よくわからなかった」と言っていた6年生のQUさんは、次にそのインタビューアを見かけたときに、元氣よくベトナム語で挨拶をしてきた。
- ・ 1年生のUYさんは、新学期開始後、「今度、ベトナム語のやつ、いつやるの?」と尋ねてきた。

ベトナム語と日本語の関係



ベトナム語習得が 日本語習得に与える影響

国際日本語普及協会(1993、p.88)

「(省略)、少なくとも母語能力の高いことが日本語習得にマイナスの影響を与えることはない・・・」

Nguyen, Shin & Krashen (2001)

米国のベトナム系移民の言語能力について、第1言語(=ベトナム語)の発達は、第2言語(=英語)の発達の妨げにはならない。

ベトナム語習得(が・に) 日本語習得(に・が) 与える影響?

対話面、話体・敬体の評価(予稿集・表1より抜粋)

ベトナム系児童				モノリンガル	
ベトナム語		日本語		日本語	
1年生	6年生	1年生	6年生	1年生	6年生
1.6	→ 3.0	2.3	→ 4.9	2.2	→ 5.0

初対面の大人に対して、丁寧語を話せるかどうかで判断(日本語・ベトナム語共に)。

表1では、すべて、1年生より6年生のほうが評価が高い。

継承語習得(維持)のため 公立小学校にできる(最低限の)こと

- 子どもに対して、継承語を使い続けることを親に伝えること(親子のコミュニケーションの維持)
- 子どもたちが自分のルーツとなる国・文化・言語を誇りに思える学校環境を作ること

そして、幼児期の継承語習得を、うまく学校での使用言語である日本語の習得に結びつけるためには、どうすれば良いのだろうか。

Special thanks go to:

Ms Hoang Le Que Trang

2007-2009

横浜国立大学教育学研究科・教員研修留学生プログラム

-2007、2009-

Nguyen Chi Dieu Junior High School, Hue City, Vietnam

細野尚子さん

2008 - 横浜国立大学教育学研究科

参考文献

- Nguyen, A., Shin, F., & Krashen, S. (2001). Development of the first language is not a barrier to second-language acquisition: Evidence from Vietnamese immigrants to the United States. *International Journal of Bilingual Education and Bilingualism*, 4, 159-164.
- Valdes, G. (2001). "Heritage language students: Profiles and possibilities". In J. K. Peyton, D. A. Ranard & S. McGinnis (Eds.), *Heritage languages in America: Preserving a national resource* (pp. 37-78). Washington DC: Center for Applied Linguistics and Delta Systems.
- Wong Fillmore, L. (1991). "When learning a second language means losing the first". *Early Childhood Research Quarterly*, 6, 323-346.
- カナダ日本語教育振興会(2000)『子どもの会話力の見方と評価ーバイリンガル会話テスト(OBC)の開発』Welland, Canada: Soleil.
- 国際日本語普及協会(1993)『日本に定住したインドシナ難民の母語の保持と喪失に関する調査研究』東京:国際日本語普及協会
- 富田健次(2000)『ヴェトナム語の世界ーヴェトナム語基本文典』東京:大学書林